

| 受理番号 | 受理年月日 | 件名及び要旨 | 提出者 | 送付委員会名 |
|---------|---------|---|-----|------------|
| 24年第16号 | 24.6.25 | <p>四国電力伊方発電所3号機の再稼働反対を求める国会への意見書提出を求める陳情</p> <p>平成23年3月11日に起こった東京電力福島第一発電所の事故は、終息したとは言えない。一年以上も経つのに、原因究明もなされてなく、放射能物質を環境に排出し続けている。原子力発電所は一旦大きな事故が起きると、一度に広範囲の地域が汚染され、時間の経過とともに、環境・生態系を通して内部の被曝が問題になってくる。また、家族・友人との断絶や、経済的な生活苦、放射能に脅かされる未来への不安など、目には見えない心の傷も問題である。</p> <p>築30年という老朽炉であり、大規模な南海地震に耐えることの出来ない設計である伊方原発が過酷事故に見舞われると、日本における太平洋沿岸の汚染は救いようも無いものとなる。事故防止の対策もさることながら、起きてからの対策は全くなされていないようである。</p> <p>伊方原発の再稼働は、「想定外」を想定した行為とは、とても思えない。多くの国民・世界中の人たちが、地震国日本での再稼働に疑問を持っている。</p> <p>【陳情事項】</p> <p>茨城県が、国会に対して、原子力発電所の事故という国民不安を解消するために「四国電力伊方発電所3号機の再稼働反対を求める意見書」を提出することを要望する。</p> | 個人 | 防災環境 商工 |